# 「市政 ここが 聞きたい」 一般質問

**一般質問とは**　議員が執行機関に対し、市政運営全般に対して行う質問です。
**質問内容**　議案とは関係なく議員が決めて、事前に通告しています。
**発言時間**　質問と答弁を合わせて、一人 60 分です。



| | | |
|---|---|---|
| 1 | 山下 勝也<br>(参政党) | ○学校給食の質と食育について<br>▶佐賀市学校教育ビジョンについて |
| 2 | 山田 誠一郎<br>(ネットワーク佐賀) | ○市の公園管理について<br>▶暑さ対策について |
| 3 | 岡山 香織<br>(自民市政会) | ○佐賀市文化会館の駐車場等について<br>▶佐賀市公式スーパーアプリについて<br>▶児童虐待防止および児童・生徒の孤独・孤立対策について |
| 4 | 西岡 真一<br>(自民清流) | ○ボランティア活動によるごみの処理について<br>▶災害時の避難について<br>▶公民館報のカラー化について |
| 5 | 重松　徹<br>(自民清流) | ○市内中小企業の経営課題に関するアンケート調査結果について<br>▶職場の熱中症対策について<br>▶スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ) による水稲被害について |
| 6 | 山下 明子<br>(市民共同) | ○佐賀市立図書館の大規模改修工事期間における図書館サービスの確保策について<br>▶暑さ対策について～ソフト面とハード面から<br>▶安心して利用できる放課後児童クラブへ<br>▶佐賀市平和展について |
| 7 | 御厨 洋行<br>(自民清流) | ○佐賀駅前交流広場について<br>▶子育てショートステイ「里親家庭」での受け入れについて |
| 8 | 山本　愛<br>(日本共産党) | ○市民の家計から見る暮らしの変化について<br>▶災害時における避難行動要支援者の避難支援について<br>▶終活支援の在り方について |
| 9 | 藤井 英貴<br>(自民市政会) | ○防犯ブザー(ＧＰＳ・通話機能付き)について<br>▶特定外来生物ナガエツルノゲイトウ等について |
| 10 | 村岡　卓<br>(公明党) | ○農家等の暑さ対策について<br>▶まちづくり自治基本条例について |
| 11 | 吉川 正剛<br>(公明党) | ○豪雨時の車両避難について<br>▶持続可能な自治会運営と地域コミュニティの在り方について |
| 12 | 南里 朱美<br>(STEP-UP FOR SAGA) | ○働く家庭を支える放課後児童クラブの利用環境について |
| 13 | 野中 宣明<br>(公明党) | ○バイオマス事業について |
| 14 | 川﨑 健二<br>(自民さが) | ○点字ブロックなど視覚障がい者への支援について<br>▶人権に関する市民意識調査について |
| 15 | 江口 由里子<br>(ネットワーク佐賀) | ○プレミアム付電子地域振興券について<br>▶おむつのサブスクについて |
| 16 | 藤田 佳典<br>(ネットワーク佐賀) | ○ｅスポーツについて<br>▶出会いの創出について |
| 17 | 平原 嘉徳<br>(自民清流) | ○将来を見据えた持続可能な佐賀市財政について<br>▶老朽化施設の対応について |
| 18 | 川副 龍之介<br>(自民さが) | ○バイオマス産業について<br>▶水稲について |
| 19 | 山田 宏一郎<br>(自民市政会) | ○中学校部活動の地域展開について<br>▶農地の集約化・大区画化について<br>▶龍造寺隆信について |
| 20 | 中島 妙子<br>(公明党) | ○高齢者が安心して暮らし続けるために<br>▶重度心身障害者医療費助成制度の現物給付化について<br>▶就学前の子どもの安全な遊び場について |
| 21 | 重田 音彦<br>(自民市政会) | ○終戦記念日等のサイレンについて<br>▶佐賀市平和展について<br>▶市の今後の農政について<br>▶市が所有するグラウンドの管理について<br>▶市道の維持修繕について |
| 22 | 諸冨 八千代<br>(自民市政会) | ○松原公園整備について<br>▶市立図書館の大規模改修について<br>▶災害への備えについて |
| 23 | 草場 健次<br>(ネットワーク佐賀) | ○佐賀市の防災について |
| 24 | 稲葉 嵩広<br>(自民さが) | ○小学校の登下校時の熱中症対策について<br>▶中心市街地の成長を次の成長につなげる都市経営について |
| 25 | 宮﨑　健<br>(自民さが) | ○通所型サービスＣについて<br>▶適切な喫煙環境について |
| 26 | 西岡 義広<br>(自民さが) | ○今宿ポンプ場の整備について<br>▶近年の豪雨災害を踏まえた道路防災体制の強化について |
| 27 | 山崎　純<br>(自民市政会) | ○廃食用油リサイクル事業と次世代への環境教育について<br>▶不登校児童・生徒への対応について |
| 28 | 徳永 文子<br>(ネットワーク佐賀) | ○持続可能な地域公共交通の確保について<br>▶市民の命と健康を守るための体育館環境整備について |

番号は質問順、（　）内は会派等、掲載は大項目のみです。○がついている項目は、次ページ以降に詳細を掲載しています。

## 学校給食に金芽米の導入を！

1

（参政党）
山下 勝也（やました かつや）



**問** 学校給食の質と食育について①どのような栄養基準を設定しているか②児童生徒の栄養摂取実態は把握しているか③栄養価の高いお米「金芽米」[※3]を学校給食に選択する考えはあるか④外国人増加に伴い宗教上の理由などで食材制限の要望があった場合の対応は。

**答** ①国が定める「学校給食摂取基準」を踏まえ、栄養バランスに配慮②献立ごとの残食量を調査し、栄養摂取状況を把握③金芽米の精米設備は県外にしかなく、輸送コストなどの課題がある。すでに金芽米を導入している自治体に対し、調達方法やコスト面の対応方法などを調査・研究したい④食べられない食材を除去する除去食など、可能な範囲で個別に対応。対応が難しい場合には保護者と相談の上、弁当を持参。児童生徒の事情を考慮し、安心して学校生活を送れるよう対応。



子どもたちの笑顔のために！
（写真はイメージ）

## 市民に愛される公園管理を！！

2

（ネットワーク佐賀）
山田 誠一郎（やまだ せいいちろう）



**問** 公園は、日常的に適切な維持管理を行い、市民が「使いたい」「また利用したい」と思える環境を継続的につくっていくことが重要である。①本市における公園管理の現状は②手持ち花火使用の社会実験について、経緯を含めた状況は。

**答** ①公園の種類や利用状況などで管理方法が異なる。都市公園では日常的な管理を地元の自治会などに行ってもらい、専門性を要する樹木の剪定を造園業者に委託している。ベンチなどの公園施設は市が定期的に巡回・点検し、安全対策、修繕などを行っている。②市民からの要望が多く、令和6年度から社会実験を行っている。これまで大きな問題もなく、多くの市民に好評だった。次年度は市内全域を対象に協力・賛同いただける地域を募り、手持ち花火ができる公園を増やしたい。



きれいに整備された公園の遊具

## 文化会館駐車場の出庫をスムーズに

3

（自民市政会）
岡山 香織（おかやま かおり）



**問** 文化会館でのイベント開催時には、駐車場出庫時の混雑、送迎車やタクシーの乗降場所も不便で出入口の渋滞が目立つ。高齢者や子ども、体が不自由な方など利用する市民が安全・快適に利用できるよう①駐車場出庫のスムーズ化②動線③乗降場の改善を求める。

**答** ①事前精算機の利用は出庫時間の短縮に有効であり、利用率を上げるため、来館者の目につきやすい場所への案内看板の増設や終演時のアナウンスを行うなど、事前精算のさらなる周知と利用促進に努めたい②東側駐車場の場合、西側出口の利用が多いため、駐車場内の案内表示により北側出口の利用を促し、周回道路への車の流入を減らすなど、混雑緩和の対策を行いたい③周回道路が混雑しているときにスムーズに乗降できる場所について、関係者と協議・検討していきたい。



スムーズに出庫できない
という声が多い

## ゴミ出し、ボランティアへの配慮を

4

（自民清流）
西岡 真一（にしおか しんいち）



**問** 高齢者などからの依頼を受けて行う草取りや立ち木の剪定などのボランティアで発生したごみを清掃工場へ持ち込む場合、事業系ごみの料金がかかっていた。①現在の佐賀市の運用はどうなっているか②屋内の片付け等で出た不要な家具等はどうなるのか。

**答** ①社会福祉協議会の確認を受け、あらかじめ市へボランティアの登録をする必要はあるが、通常は事業ごみの料金が必要なところ、令和8年7月1日から家庭ごみの料金の額まで減額する取り扱いとしている②廃棄物処理法では、他人のごみを誰でも自由に運搬することは認められておらず、本人や市の委託・許可を受けた事業者等が運搬する必要がある。ボランティアが片付けの支援をすることは可能だが、その後の処分は、市の粗大ごみ定期収集や臨時収集を利用していただきたい。



ボランティア活動範囲が
広がってきている

※3　金芽米…東洋ライス（株）独自の技術で、玄米の旨みや栄養が豊富な「亜湖粉層」と、胚芽の基底部（金芽）を残して精米したお米。

## 市内の中小企業等の経営課題を問う



(自民清流) 重松 徹(しげまつ とおる) 5

**問** 2025年度の市内中小企業小規模事業者の倒産・廃業の件数が約100件前後と非常に多く深刻な状況で、市としても倒産を未然に防ぐ対策が必要。今回、市が実施したアンケートの結果から市内中小企業小規模事業者のリアルな現状をどう受け止めているのか。

**答** アンケートでは、人手不足やDX、事業承継、販路開拓、BCP※4などの問題が挙がった。また、業績が伸びている事業者と厳しい状況の事業者があり、経営環境の二極化がうかがえ、人材、資金、時間などの経営資源が限られているという共通の課題があると捉えている。市としては、補助金等による個別支援に加え、佐賀商工会議所等の支援機関と連携した伴走型支援の充実が重要と考える。支援が必要な事業者には、プッシュ型支援も活用しながら、きめ細かな支援に取り組みたい。



市内中小企業・小規模事業者製造工場

## 図書館休館中も本館機能維持を



(市民共同) 山下 明子(やました あきこ) 6

**問** 図書館は閲覧・貸出、情報発信・文化交流、市民の居場所として親しまれている。約2年の休館中も、手にとって読める場、貸し借り、読書相談など、自転車や徒歩で利用できる範囲に本館機能の維持を。広く市民の意見を聞きながら進めるべきでは。

**答** 休館期間中に利用したいサービスや、リニューアル後に期待するサービスに関するアンケートを図書館本館とeさがモニターで実施した。これは、図書館利用者に限らず広く市民の意見を伺うことを意図したものであり、現時点では追加実施の予定はない。まず、今回のアンケート結果を参考に、休館中のサービスや代替措置について検討したい。今後、新たに確認すべき事項や特定の方々の意見を伺う必要が生じた場合には、必要に応じて適切な方法で意見を伺いたい。



図書館は多様な市民の居場所
休館中も通える居場所を！

## 誰もが安心して過ごせる佐賀駅前へ



(自民清流) 御厨 洋行(みくりや ひろゆき) 7

**問** ①夜間の巡回や防犯カメラなど、現在どのような防犯・見守り体制を取っているのか②ごみや吸い殻のポイ捨ての実態をどう把握し、対策しているのか③広場にごみ箱を一定期間設置し、ポイ捨て減少の効果や管理上の課題を検証する実証実験を行ってはどうか。

**答** ①巡回・見守りは警察、警備会社、広場に隣接する事業者等と連携して対応。広場内に防犯カメラを4台設置し管理運用②駅周辺がにぎわうにつれ周辺道路のポイ捨てごみも増加する傾向。今後は関連データを活用し、より効果的な対策を検討する③ごみ箱は適切に管理されなければ、かえって環境美化を損なうことも懸念される。設置場所や回収体制、周辺への影響等を含めて慎重に検討する必要がある。まずは広場利用者の環境美化に対する意識を高めるための啓発に取り組みたい。



「ポイ捨て禁止」の看板前にもごみ。啓発だけでは限界

## 家計全体を見た生活支援を



(日本共産党) 山本 愛(やまもと あい) 8

**問** 行政には多くの部署があるが、市民の財布は1つである。何が家計を押し上げ、何が家計を下支えし、既存の支援を踏まえてもどのような負担が残るのか、こうした家計全体を見る視点を、市独自の生活支援策を検討する際の判断材料に取り入れる考えはないか。

**答** 生活支援策を検討する際、市民生活への影響を把握することは重要と認識しているが、個々の家計の状況を把握し、支援策に取り込むことは、実務上難しさがあると考えている。そのため、マクロ的な統計データを注視するとともに、子育て世帯等それぞれの世帯が置かれている状況、さらには窓口や現場に寄せられている相談等を、施策を検討する際の参考としている。今後も客観的な統計データと実態把握を組み合わせ、迅速かつ公正に支援を届けられるよう努めたい。




家計全体から暮らしを見る

※4 BCP（事業継続計画）…企業が自然災害などの緊急事態に遭遇した場合に、損害を最小限にとどめつつ事業継続や早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法などを取り決めておく計画。

## 子どもの命を守れ！新たな見守りへ



(自民市政会)
藤井 英貴（ふじい ひでき）

9

**問** 人通りの少ない通学路では、音だけの防犯ブザーや通過履歴だけでは十分とは言えない。子どもの命を最優先に守るため、地域による見守りに品川区で実績のあるGPS・通話機能付き端末など、最新のICT技術を柔軟に取り入れるべきではないか。

**答** GPSによる位置情報の確認や緊急時に通話などができる機能を備えた端末は、子どもの安全を確保するための選択肢の一つと認識している。本市では、長年にわたり保護者や地域の皆さまの協力により、子どもを地域全体で見守る取り組みを積み重ねており、今後も他都市の取り組み等情報収集を行い、地域による見守りとICTをどのように組み合わせることが効果的なのかという視点も含め、子どもの命を守るために何ができるのか、引き続きさまざまな方策について考えていく。




児童見守りシステム
（品川区のまもるっち）

## 農家等を守る高温対策を強化せよ！



(公明党)
村岡 卓（むらおか たかし）

10

**問** 近年の夏の異常なまでの暑さは、農家等に多大な影響が出ている。①熱中症発症時に発見が遅れる等リスクの高い方へは重点的な周知が必要ではないか②今夏の高温少雨による影響をどのように把握しているか③今後は恒常的な高温対策を整備すべきではないか。

**答** ①7月から、夏の熱中症等声かけ期間に関するチラシを窓口に設置し、農家への普及啓発に努めている。また、暑さを迎える前の4月に全農家に対して熱中症対策のチラシを配布し、早めの周知を行った②農作物への被害状況については、関係機関から情報を収集しており、今のところ大豆の発芽不良や果樹の樹勢低下が懸念される③近年の高温化については、農業従事者の労働環境の悪化や農作物の高温障害などが懸念されるため、関係機関と連携して支援が必要と考えている。




額に汗して収穫する農家

## 豪雨時の車両避難を市の備えに



(公明党)
吉川 正剛（よしかわ せいごう）

11

**問** ①過去の豪雨の教訓をどう反映してきたか②地域・自治会と事業者の連携を基本とする理由は③市に仲介・支援を求めた事例は④県内自治体の取り組みの受け止めは⑤県協定の平時からの制度周知が必要では⑥市民ニーズ等を踏まえ車両避難のあり方を検討しては。

**答** ①排水対策基本計画を策定し、浸水被害と都市機能への影響軽減を目指す②実情を把握する地域と駐車場を有する企業が連携し、避難場所の確保が重要③車両避難の内容を含む相談を地域からいただいた④車両集中による各種課題や避難場所の浸水リスクの検討が必要⑤県とパチンコ・パチスロ店協同組合との協定について9月初旬から市ホームページで公開⑥既存取り組みを継続していくとともに、公的施設等への車両避難も関係部署と協議しながら研究していきたい。



冠水前の車両避難が被害軽減に

## 児童クラブの利用環境整備を



(STEP-UP FOR SAGA)
南里 朱美（なんり あけみ）

12

**問** ①6年生までの完全受け入れを最優先とする中でも、昼食提供に向けた準備や課題整理を並行して進めることはできないか②今後、どこを一つの区切りとして、長期休業中の昼食提供に向けた具体的な取り組みへ進めていく考えか。

**答** ①昼食提供への対応は大きな課題と捉えており、これまで実施に向けて調査、研究を進めてきた。課題整理や実現に向けた検討には引き続き取り組んでいきたい②令和9年4月に全校区で6年生まで受け入れられるよう、支援スタッフの確保と実施場所の確保にスピードを上げて取り組んでいる。支援スタッフの確保については民間委託を進めており、クラブ運営における人材確保のめどがついたところで、できるだけ早期にニーズに応えられるよう、具体的な取り組みを行いたい。




長期休業中のお弁当に、注文という選択肢を

## バイオマス事業「液化」を目指して



（公明党）
野中（のなか） 宣明（のぶあき） 13

**問** 清掃工場で回収した二酸化炭素は、配管から気体のまま農業用に供給されているが、季節や時間帯で偏りがある。液化できれば工業利用を組み合せることで供給の偏りを解消でき、かつ、運搬可能となり農業利用の拡大も期待できる。液化はいつ事業化するのか。

**答** 清掃工場で回収した二酸化炭素の利用範囲を広げるため、これまで液化について関連企業と技術面や法令面、事業採算性などを協議してきた。今年度は液化プラントの具体的な設計を進めつつ、設備条件や関係法令への対応などを整理している。現時点では具体的な稼働時期を示せる段階でないが、まずは設置場所や設備仕様を具体化し、事業費や事業採算性などを精査したうえで事業化の可否を判断する。そのうえで具体的なスケジュールを示せるよう、引き続き検討を進めていく。



清掃工場の二酸化炭素分離回収設備

## 点字ブロック等の充実を



（自民さが）
川﨑（かわさき） 健二（けんじ） 14

**問** ①視覚障がい者数、白杖使用者数は②点字ブロックの破損・摩耗の把握と補修は③リニューアルする市立図書館の点字ブロックはどうなるか④コード化点字ブロック等、新技術の研究・活用をすべきでは⑤最終的には人の手・心が大切。市の考えは。

**答** ①身体障害者手帳を持つ視覚障がい者は642人（令和8年3月末時点）。白杖の過去5年の支給実績は170件②日頃の道路パトロールや市民等の情報提供を基に不具合を早期発見し、必要な補修・更新を実施③当事者等の意見を伺い整備を進める④引き続き当事者団体等と意見交換し、新技術へのニーズや課題を把握したい⑤周囲の見守りや必要な場面での声かけなど人的支援も重要と考える。今後も視覚障がい者が安心して外出・移動できるよう必要な取り組みを進めていく。



コード化点字ブロック（しゃべる点字ブロック）の例

## プレミアム付商品券の効果検証を！



（ネットワーク佐賀）
江口（えぐち） 由里子（ゆりこ） 15

**問** 第4弾利用期間が7月31日をもって終了。①購入者数、購入口数は②今後の検証スケジュールは③検証に際し、実績同様に経済効果の公表が望ましいと思うが、市の見解は④現時点で第4弾『がばいサカえーるPay』事業を本市はどう捉えているか。

**答** ①購入者数は3万3308人。発行した18万口は完売した②利用者へのアンケートを7月、参加店舗へのアンケートを8月に実施。結果は年内をめどに取りまとめる③経済効果を実績と併せて分かりやすく知らせることは大事だと考えており、他都市の事例を参考に方法などを研究していきたい④地域振興券の利用を通じて相応の消費が生まれ、佐賀市内の地域経済の発展につながったと考える。今後、利用実績等を確認しながら経済効果などを検証していきたい。




プレミアム率30%の第4弾が実施されました

## eスポーツを課題解決のツールに！



（ネットワーク佐賀）
藤田（ふじた） 佳典（よしのり） 16

**問** eスポーツを課題解決の一助として①文化系地域クラブの選択肢の一つとして、eスポーツの位置付けは②依存を防ぐためのリテラシー教育は③若者が高齢者と共に笑い合う多世代交流の見解は④地域主体のまちづくりへの活用は。

**答** ①今後、地域で指導体制を確立した運営団体が設立されれば、地域クラブとして展開される可能性がある②各学校で取り組んでおり、インターネットの適切な利用や情報の取り扱いなど講師を招いて学んでいる学校もある③サロン参加者の意向や運営代表者の負担への対応、未成年者の参加調整方法など課題はあるが、高齢者を対象としたeスポーツの実施方法を研究していく④地域団体が新たにeスポーツに取り組みたい場合、公民館に相談いただければ支援できる団体と橋渡しを行う。




若者や民間を巻き込んで世代間交流ツールにｅスポーツを

## 将来を見据えた持続可能な財政か？



（自民清流）平原（ひらばる） 嘉徳（よしのり） 17

**問** ①佐賀県の総生産ＧＤＰは約３・４兆円であるが、本市のＧＤＰは②隣接する福岡市のＧＤＰは８兆２４００億円であるが、地理的メリットが本市の経済成長につながっていない。企業誘致など「佐賀と福岡の経済的な相互関係」をさらに強化すべきである。

**答** ①直近の令和４年度の市内総生産は９６２０億９７００万円②福岡都市圏には多くの企業や大学、多様な人材、さらには大きな消費市場が集積している。そこに隣接していることは大きな地理的優位性の一つであり、さまざまな分野で大きな可能性につながる。その優位性を最大限に生かしながら、企業誘致や人材確保の取り組み、観光誘客や移住・定住の促進を通じた交流人口の拡大など、各種施策を戦略的に展開し、本市のさらなる魅力向上と地域経済の発展につなげていきたい。




佐賀市の将来を見据えた取り組みを！

## 環境にやさしいバイオマス産業都市



（自民さが）川副（かわそえ） 龍之介（りゅうのすけ） 18

**問** ①２０１４年バイオマス産業都市に認定され、今「佐賀市グリーン化推進戦略」として展開している各事業の実績とグリーン化推進戦略の成果は②下水浄化センターでは汚泥量が増加し汚泥肥料の製造施設が限界を迎えている。施設の改善等や運用の見直しは。

**答** ①令和７年度は、清掃工場では分離回収した$CO_2$を施設園芸等に約２３０トン供給。廃食用油のリサイクルでは高品質バイオディーゼル燃料を製造し市営バス等の燃料に約４万２千リットル利用。下水浄化センターでは下水汚泥を原料に肥料を約１３００トン生産等。現在、$CO_2$の付加価値向上に取り組み、民間企業と連携して液化も検討中②肥料としての利用を最優先とし、施設増設を含め最適な汚泥処理を検討するとともに、肥料販売に加え肥料製造会社への原料としての供給も進める。



住みやすい環境をいつまでも

## 中学校部活動、どう改革していくか



（自民市政会）山田（やまだ） 宏一郎（こういちろう） 19

**問** 市と市教育委員会から学校部活動および地域クラブ活動基本方針が出されたが①週の活動時間を国の目安より短くした理由は②地域クラブの指導者に競技以外の指導も求めるのか③地域移行が困難な可能性がある場合は移行期間を延ばすなど措置をとるのか。

**答** ①生徒の生活実態や意識調査の結果を重視し、成長期にある生徒が学校内外の活動、休養などバランスが取れた生活を送れるよう生徒の負担や健康に配慮したため②競技や技術向上のみに偏ることなく、生徒が安全、安心な環境の下で主体的に部活に取り組めるよう支援し、生涯にわたってスポーツ・文化芸術に親しむための基礎を育む役割も担うこととしている③急激な移行ではなく、令和10年度までの取り組み状況などを確認し、必要に応じて基本方針を見直しながら進めていく。



中学校部活動は今後どう変わるのか

## 元気なうちから将来への備えを！



（公明党）中島（なかしま） 妙子（たえこ） 20

**問** 「あんしんノート」は、これまでの人生を振り返り、これからの暮らしやもしもに備えるためのノートである。心身ともに元気なうちから存在を知り、必要と感じた時に手に取れるよう、より多くの市民に知っていただき、有効に活用するための今後の取り組みは。

**答** 「あんしんノート」について、より早い時期からその存在や趣旨を知っていただくことは大切であると認識している。市報やホームページで、具体的な活用事例や写真を掲載するなど、分かりやすい広報に取り組むとともに、市内の図書館など新たな配置場所も検討している。また、介護サービスに関する相談でおたっしゃ本舗を訪れた現役世代への紹介や、これまでより幅広い世代を対象とした講座なども検討し、もしもの時に備えるきっかけとなるよう、普及啓発に取り組みたい。



あんしんノートをもっと身近に！

## 原爆投下日のサイレンは必要！



（自民市政会）
重田（しげた） 音彦（なるひこ） 21

**問** 今年の広島、長崎への原爆投下時刻のサイレンが所によっては鳴らなかったと市民から指摘されたがその理由は。戦争や原爆投下の記憶が風化しつつある現在だからこそ必ず鳴らすべきだと考える。来年以降の取り組みについて問う。

**答** 本市では、該当する日時に防災行政無線を活用した黙とう放送を実施してきたが、生活に影響がある、突然の大きな音に驚くなどのご意見が寄せられていたため、放送の在り方を検討するための試みとして、各支所管内において全ての子局による放送から、各支所に設置した子局での放送に変更したところである。今後は、今回の試行結果や寄せられたご意見を踏まえ、黙とうの機会を広く市民の皆様にお届けできる方法について検討を深めながら実施していきたいと考えている。



防災行政無線

## 松原公園を市のランドマークに！



（自民市政会）
諸冨（もろどみ） 八千代（やちよ） 22

**問** 昨年3月に基本構想が示された松原公園整備について①進捗状況は②担当部署が経済部に変わった狙いは③徴古館は佐賀の重要な文化施設だと考えるが、市の考えは④令和9年に徴古館開館100年、令和15年には佐嘉神社も創建100年を迎える。どう進めるか。

**答** ①松原エリアが歴史・文化の発信拠点機能の役割を果たすため、土地所有者との協議を進めているところである②本市の歴史・文化の価値を生かし、観光施策などと一体的に展開することで、地域経済の活性化につなげていきたい狙いがある③松原公園において、核となる施設であると考えている④それぞれ記念となる事業を検討されていると伺っている。まずは、徴古館100周年記念プレ企画展「佐賀のたから」を鍋島報效会と共催し、歴史・文化の発信に取り組んでいきたい。




10月10日から12月20日まで開催される「佐賀のたから」展

## 災害時、誰もが安心できる備えを！



（ネットワーク佐賀）
草場（くさば） 健次（けんじ） 23

**問** 災害時の備えを問う。①避難所に行けない自宅や車中泊の方へ確実に支援物資を届ける輸送ルートの確保②スマホなどへ市から直接、命を守る情報を届ける仕組み③地域の助け合いの要である自主防災組織の連携強化について、市の見解を求める。

**答** ①被災者への物資支援の在り方については、今後の国や専門機関等による検証結果を参考に、宅配業者等と協議を行い、研究していきたい②公式スーパーアプリで災害および避難情報を発信。また、防災行政無線やさがん電話等さまざまな手段を用いて情報発信に努めている③防災業務専門支援員を配置し、相談時に他の自主防災組織の活動事例を紹介するなど情報提供や共有に努めている。今後も地域の実情に応じた防災活動のため、自主防災組織の連携を支援していきたい。



在宅避難者へ確実に物資を届けるルートの確保を！

## 登下校時の熱中症対策を



（自民さが）
稲葉（いなば） 嵩広（たかひろ） 24

**問** 猛暑が続く中、児童の登下校時の熱中症対策は重要性を増している。市が冷却用品の活用を推奨するのであれば、下校時にも有効に使用できる環境を整える必要がある。学校への冷凍庫設置など、モデル校で効果や管理方法を検証しては。

**答** 冷凍庫の設置場所確保や冷却用品の管理、衛生面への配慮、児童への返却方法、教職員の管理体制など整理すべき課題がある。また、児童数や施設の状況、通学距離や通学環境など、各学校に応じた対応を検討する必要がある。今年度から一部の小学校で既存の冷凍庫等を活用する取り組みを行っており、その利用状況や運用状況とともに、他自治体の事例も確認し参考としている。これまでもさまざまな熱中症対策を行ってきたが、冷凍庫の設置も含め、さらなる対応を検討したい。



子どもたちの登下校にも暑さ対策を！

## 通所型サービスCの利用促進を



（自民さが）
宮崎 健（みやざき たけし）

25

**問** ①通所型サービスCについて本市の見解は②本市の利用状況について③鳥栖地区広域市町村圏組合では盛んに利用されているが見解を④今後本市においても鳥栖地区のように予防の観点から取り組めないか⑤本市の利用促進はどうするのか。

**答** ①入院などで生活機能が低下した方などが短期間で回復・改善を図り、自立した日常生活を取り戻すための取り組み②利用状況は少なく課題と認識③本市の対象者や支援内容との違いなど、他市の状況を確認したい④まず本事業を利用し、回復・改善状況に応じて介護予防事業に引き続き参加し、生活機能の維持などに取り組んでほしい⑤利用者と事業者の両面から必要な方の利用につながる体制づくりを進め、自立した日常生活を取り戻せるよう本事業の利用促進に取り組んでいく。



病後の対策か事前予防か
考え方はさまざまだが

## 今宿ポンプ場の整備について問う



（自民さが）
西岡 義広（にしおか よしひろ）

26

**問** ①令和元年8月豪雨、令和3年8月豪雨で八田江川と佐賀江川に挟まれたエリア周辺で発生した床上・床下浸水の被害件数は②多額の公費を投じて建設される今宿ポンプ場の稼働により、どの町のどの流域エリアで浸水被害がどの程度軽減される見込みなのか。

**答** ①令和元年豪雨では、床上浸水が587件、床下浸水が559件②今宿町の安住団地自治会などの周辺区域は、満潮時等で自然排水が困難な場合も八田江川へ強制排水が可能となり、排水能力が大幅に向上する。これにより上流の水ケ江や城内地区をはじめ、市街地南東部の広範囲で水位が低下し浸水被害を軽減できる。多様な降雨にも本ポンプで確実に対応し、事前排水も含め被害軽減に努めていく。



ポンプ場の稼働により、
水害リスクの軽減に期待

## 家庭に眠る「油田」を資源に



（自民市政会）
山崎 純（やまさき じゅん）

27

**問** ①家庭に眠る廃食用油を「家庭油田」と捉え、回収をさらに進められないか②子どもの学びを家庭での回収行動につなげる環境教育ができないか③廃食用油の回収・再利用の成果を見える化できないか。

**答** ①廃食用油を安定的に回収するため、ごみカレンダー分別表やホームページへの記載、SNS動画広告、佐賀環境パネル展での展示などの周知啓発に取り組んでいる②小学4年生に環境教育を行っており、子どもの学びを通じて家庭での実践のきっかけになると考える③市民がリサイクルの成果を実感できるよう、回収ボックスの周辺にリサイクルの状況を掲示することで見える化を進め、さらなる回収につなげていきたい。




廃食用油はこの回収箱へ
（スーパーや公民館などにあります）

## 持続可能な地域公共交通の確保を！



（ネットワーク佐賀）
徳永 文子（とくなが ふみこ）

28

**問** ①公共交通空白地域などで導入されているコミュニティ交通を、将来にわたって持続可能なものにするために、市として今後どのように取り組むのか②深刻な運転士不足が叫ばれる昨今、計画的な運転士の育成・確保のために市が取り組んでいることは。

**答** ①地域の実情や移動ニーズを踏まえ、路線バスとコミュニティ交通を一体的に捉えて、それぞれの地域に適した交通の在り方を検討し、地域ごとの改善案の実証を順次進めたい②大型二種免許がなくても優秀な人材を採用し、免許の取得を費用面で支援している。また、職場見学や個別相談会を随時実施し、女性には女性運転士と面談する機会を設け、業務への理解を深めてもらい、就業への不安や悩みの解消にも努めている。さらに、令和7年度から高校新卒者の募集も開始した。



ノンステップバスの導入
100%